

# 田尻町まち・ひと・しごと創生総合戦略 進捗状況及び効果検証調書

令和元年6月13日

田尻町総務部企画人権課

総合戦略進捗状況及び効果検証調査

基本目標		(1)基本方向					
【ひと】 1. 若者の人口流入を確保し、地元定着を促進する	■25歳から39歳までの転入超過数 5年間で100人	・若い世代の転入が概ね泉州地域から生じており、また日常生活圏も泉州地域を中心に行っていることから、若い世代の転入を促進するとともに、地域の特性を生かして、充実した生活を送り、住み続けられるように、地元定着を促進する。					
(2) 具体的な施策及び重要業績評価指標 (KPI)							
施策	事業	KPI (H26⇒H31)	H27	H28	H29	H30	H31
転入・定住の促進	○シティプロモーションの推進 ○税の優遇策 ○三世代同居等支援	25歳から39歳までの転入超過数 — 人 ⇒ 5年間で 100人	KPI達成状況	KPI達成状況	KPI達成状況	KPI達成状況	KPI達成状況
			—	39人	24人 H28～H29合計 63人	▲12人 H28～H30合計 51人	
			具体的な取組 進捗状況	具体的な取組 進捗状況	具体的な取組 進捗状況	具体的な取組 進捗状況	具体的な取組 進捗状況
			平成28年度より具体策を検討していく。	○シティプロモーション活動として平成28年9月よりふるさと納税制度を拡充。その他キャラクターグッズ作成などの取組みを実施した。 ○平成29年度から3年間町民税を10%減税するため平成28年9月議会にて条例を改正した。 ○三世代同居・近居生活を始める方への助成制度を平成28年10月から開始した。 ○転入・定住を促進するため、自己の居住する住宅を取得した方への助成制度を平成29年1月から開始した。 ○銀行と連携し、転入・定住促進及び親元近居住宅ローンの取扱いを平成29年1月から開始した。	○シティプロモーション活動としてH29年度より開空島内連絡バスにラッピング広告を実施した。 ○ふるさと納税実績 154件 4,253,000円 ○町民税10%減税を実施した。 ○三世代同居・近居助成実績 15件。 ○転入・定住促進助成実績 27件。 ○銀行と連携し、転入・定住促進及び親元近居住宅ローンの取扱いを引き続き実施した。	○シティプロモーション活動としてH29年度に引き続き開空島内連絡バスにラッピング広告を実施した。 ○ふるさと納税実績 170件 3,333,000円 ○町民税10%減税を実施した。 ○三世代同居・近居助成実績 6件。 ○転入・定住促進助成実績49件。 ○銀行と連携し、転入・定住促進及び親元近居住宅ローンの取扱いを引き続き実施した。	
			効果・検証	効果・検証	効果・検証	効果・検証	効果・検証
平成28年3月に審議会を開催し、事業の進捗状況及び効果検証を行った。 継続	平成29年3月に審議会を開催し、事業の進捗状況及び効果検証を行った。 継続	平成30年3月に審議会を開催し、事業の進捗状況及び効果検証を行った。 継続	令和元年6月に審議会を開催し、事業の進捗状況及び効果検証を行った。 継続				

総合戦略進捗状況及び効果検証調査

基本目標		数値目標	(1)基本方向				
【ひと】 2.子育て環境等の整備により、若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる		■合計特殊出生率 5年後に 1.6以上	・若い世代が家庭を持ちやすい環境づくりのため、安心して働き、出産・子育て・教育がしやすい取り組みを切れ目なく行い、子どもの健やかな成長を家庭・地域で支えていくまちづくりを進める。				
(2)具体的な施策及び重要業績評価指標(KPI)							
施策	事業	KPI(H26⇒H31)	H27	H28	H29	H30	H31
母子保健の充実	○総合的不妊不育治療助成事業 ○妊婦相談 ○乳幼児健康診査 ○乳幼児健康診査	妊婦面接 100% ⇒ 100% 乳児訪問 98% ⇒ 100% 乳幼児健康診受診率 ・5か月児健診 100% ⇒ 100% ・94% ⇒ 100% ・1歳6か月児健診 93% ⇒ 100% ・3歳6か月児健診 98% ⇒ 100%	KPI達成状況	KPI達成状況	KPI達成状況	KPI達成状況	KPI達成状況
			妊婦面接 100% 乳児訪問 100% 乳幼児健康診受診率 ・5か月児健診 100% ・1歳6か月児健診 100% ・3歳6か月児健診 91%	妊婦面接 100% 乳児訪問 100% 乳幼児健康診受診率 ・5か月児健診 100% ・1歳6か月児健診 100% ・3歳6か月児健診 91%	妊婦面接 100% 乳児訪問 100% 乳幼児健康診受診率 ・5か月児健診 100% ・1歳6か月児健診 100% ・3歳6か月児健診 99%	妊婦面接 100% 乳児訪問 100% 乳幼児健康診受診率 ・5か月児健診 99% ・1歳6か月児健診 99% ・3歳6か月児健診 98%	
			具体的な取組 進捗状況	具体的な取組 進捗状況	具体的な取組 進捗状況	具体的な取組 進捗状況	具体的な取組 進捗状況
			相談事業、訪問事業等を継続実施している。	妊婦期から子育て期まで切れ目なく相談訪問等実施した。	妊婦期から子育て期まで切れ目なく相談訪問等実施した。 平成30年度から新生児聴覚検査、産婦健診、産後ケア事業を実施します。	妊婦期から子育て期まで切れ目なく相談訪問等実施した。 産婦健診、産後ケア事業等の開始により、不安の高まりやすい産後早期の支援を充実した。	
			効果・検証 平成28年3月に審議会を開催し、事業の進捗状況及び効果検証を行った。 継続	効果・検証 平成29年3月に審議会を開催し、事業の進捗状況及び効果検証を行った。 継続	効果・検証 平成30年3月に審議会を開催し、事業の進捗状況及び効果検証を行った。 継続	効果・検証 令和元年6月に審議会を開催し、事業の進捗状況及び効果検証を行った。 継続	
施策	事業	KPI(H26⇒H31)	H27	H28	H29	H30	H31
子育て支援体制の充実	○子ども医療費助成事業 ○保育事業 ○放課後児童健全育成事業 ○子育て支援センター事業 ○キッズルームの運営	子ども医療費助成対象者数(通院) 1,193人 ⇒ 1,450人 保育所待機児童数 0人 ⇒ 0人 学童保育待機児童数 0人 ⇒ 0人	KPI達成状況	KPI達成状況	KPI達成状況	KPI達成状況	KPI達成状況
			子ども医療費助成対象者数(通院) 1,193人 保育所待機児童数 0人 学童保育待機児童数 0人	子ども医療費助成対象者数(通院) 1,442人 保育所待機児童数 0人 学童保育待機児童数 0人	子ども医療費助成対象者数(通院) 1,437人 保育所待機児童数 0人 学童保育待機児童数 0人	子ども医療費助成対象者数(通院) 1,461人 保育所待機児童数 3人 学童保育待機児童数 0人	
			具体的な取組 進捗状況	具体的な取組 進捗状況	具体的な取組 進捗状況	具体的な取組 進捗状況	
			子ども医療費助成については、平成28年7月より助成対象範囲を中学校3年生から高校3年生まで拡大した。 ○一時預かり事業に係るニーズ調査及び近隣自治体の状況調査等、実施に向けた検討を行った。 ○学童保育については、平成28年4月から指定管理者制度を導入し、保育時間の拡大(土曜日、三期休業中の保育開始時間を午前8時30分から午前8時に変更)並びに安心安全対策及び事務連絡用として入退室管理システムの導入等を行った。 子ども医療費助成について、平成28年7月より助成対象範囲を中学校3年生から高校3年生まで拡大する。 ○キッズルームでは、平成28年度から幼児及び小学校に案内チラシを配付並びに新規イベントの実施等を行った。その結果、利用者は、倍増した。	子ども医療費助成については、平成28年7月より助成対象範囲を中学校3年生から高校3年生まで拡大した。 ○一時預かり事業については、幼稚園において平成30年4月から実施します。 ○学童保育については、平成30年4月から、3～5歳児の保育所・幼稚園の保育料及び給食費の無償化を実施します。 ○学童保育については、昨年度からの指定管理者制度での事業実施を継続した。 ○子育て支援センター事業として、平成28年度から引き続き健康課と合同で産後交流会を開催した。 ○キッズルームでは、引き続き保育所・幼稚園及び小学校に案内チラシを配付並びにイベントの実施等を行った。その結果、利用者は増加した。	子ども医療費助成については、昨年度拡大した助成対象を継続実施した。 ○一時預かり事業については、幼稚園において平成30年4月から実施します。 ○平成30年度から、保育所・幼稚園にICT環境を構築し、保幼小中一貫したICT教育を実施します。 ○学童保育については、昨年度からの指定管理者制度での事業実施を継続した。 ○子育て支援センター事業として、平成28年度から引き続き健康課と合同で産後交流会を開催した。 ○キッズルームでは、引き続き保育所・幼稚園及び小学校に案内チラシを配付並びにイベントの実施等を行った。	子ども医療費助成については、平成28年度拡大した助成対象を継続実施した。 ○平成30年度から一時預かり事業(幼稚園型)を幼稚園において実施した。 ○平成30年度から3～5歳児の保育所・幼稚園の保育料及び給食費の無償化を実施した。令和元年10月からは国の制度として幼児教育の無償化が実施される。 ○平成30年度から私立幼稚園就園補助金の限度額の引き上げ(上限356,000円)を実施した。 ○平成30年度から保育所・幼稚園にICT環境を構築し、知育タブレット、電子黒板、書画カメラ等を活用したICT教育を実施するとともに、保幼小中一貫した情報連携体制の推進を図った。 ○学童保育については、平成28年度からの指定管理者制度での事業実施を継続した。 ○子育て支援センター事業として、平成28年度から引き続き健康課と合同で産後交流会を開催した。また、一時預かり事業(一般型)を平成30年度から実施した。 ○キッズルームでは、引き続き保育所・幼稚園及び小学校に案内チラシを配付並びにイベントの実施等を行った。	
			効果・検証 平成28年3月に審議会を開催し、事業の進捗状況及び効果検証を行った。 継続	効果・検証 平成29年3月に審議会を開催し、事業の進捗状況及び効果検証を行った。 継続	効果・検証 平成30年3月に審議会を開催し、事業の進捗状況及び効果検証を行った。 継続	効果・検証 令和元年6月に審議会を開催し、事業の進捗状況及び効果検証を行った。 継続	

施策	事業	KPI(H26⇒H31)	H27	H28	H29	H30	H31
			KPI達成状況	KPI達成状況	KPI達成状況	KPI達成状況	KPI達成状況
			外国人英語指導助手配置人数 1人 英検合格者の向上 1年生5級 9割 2年生4級 7割 3年生3級 3割	外国人英語指導助手配置人数 2人 英検合格者の向上 1年生5級 9割 2年生4級 8割 3年生3級 3割	外国人英語指導助手配置人数 2人 英検合格者の向上 1年生5級 9割 2年生4級 8割 3年生3級 5割	外国人英語指導助手配置人数 2人 英検合格者の向上 1年生5級 8割 2年生4級 7割 3年生3級 4割	
			具体的な取組 進捗状況	具体的な取組 進捗状況	具体的な取組 進捗状況	95件/年	具体的な取組 進捗状況
		外国人英語指導助手配置人数 1人 ⇒2人 英検合格者の向上 1年生5級 7割 ⇒ 8割 2年生4級 5割 ⇒ 6割 3年生3級 3割 ⇒ 4割  平成29年度審議会結果として、 英検合格者の向上については、 平成30年度以降 1年生5級 9割 2年生4級 8割 3年生3級 5割 を維持に変更。  ○保幼小中一貫教育の実践 ○国際理解教育(英語教育)の実践 ○ICTを活用した授業の実践 ○施設・整備の充実 ○学校給食の充実	○教科等での小部会実施と合わせて、各校園所の実践を教育フォーラムで発表した。  ○保育所では外国人ALTとの交流、小学校では外国語活動の授業研究、中学校では英検を中心に語えた英語力向上が進んだ。  ○プロジェクターなどの拡大提示装置を効果的に活用した授業づくりが進んだ。  ○給食内容の充実に向け検討を行い、拡充を図った。	○教科等での小部会実施と合わせて、各校園所の実践を教育フォーラムで発表した。  ○保育所・幼稚園では外国人ALTとの交流、小学校では外国語活動の実践と関西国際センターとの交流、中学校では関西国際空港でのインタビュ体験や英検を中心に語えた英語力向上が進んだ。  ○道徳の授業づくりを始めとして、プロジェクターなどの拡大提示装置を効果的に活用した授業づくりが進んだ。  ○小学校の非構造部材の耐震対策を実施し、安全性の向上を図った。  ○次の調理委託業務更新に向け仕様の見直しを行うこととした。	○教科等での小部会実施と合わせて、各校園所の実践を教育フォーラムで発表した。  ○保育所・幼稚園では外国人ALTとの交流、小学校では外国語活動の実践と関西国際センターとの交流、中学校では関西国際空港でのインタビュ体験や英検を中心に語えた英語力向上が進んだ。  ○タブレット、電子黒板、プロジェクター等を効果的に活用したわかる授業づくりに向けた改善が進んだ。  ○小中学校における適切な教育環境の確保を図るため、空調設備の更新を行った。  ○中学校(体育館除く)の非構造部材の耐震対策を実施し、安全性の向上を図った。  ○学校給食場の改修工事を行うとともに調理業務委託業務の仕様を見直し、平成30年度より給食献立品数を4→5品目に増加させ、学校給食の充実を図るための環境整備を行った。	○教科等での小部会実施と合わせて、各校園所の実践を教育フォーラムで発表した。  ○保育所・幼稚園では外国人ALTとの交流、小学校では外国語活動の実践と関西国際センターとの交流、中学校では英検を中心に語えた英語力向上に取り組んだ。  ○平成30年度から保育所・幼稚園にICT環境を構築し、知育タブレット、電子黒板、書画カメラ等を活用したICT教育を実施するとともに、保幼小中一貫した情報連携体制の推進を図った。  ○タブレット、電子黒板、プロジェクター等を効果的に活用したわかる授業づくりに向けた改善が進んだ。  ○小中学校における適切な教育環境の確保を図るため、空調設備の更新を行った。  ○中学校(体育館除く)の非構造部材の耐震対策を実施し、安全性の向上を図った。  ○給食献立品数を4品目から5品目へ増加し、保護者負担は据え置きとした。また、次年度より学校給食費の無償化を実施し、食育の推進を図る。	
			効果・検証	効果・検証	効果・検証	効果・検証	効果・検証
			平成28年3月に審議会を開催し、事業の進捗状況及び効果検証を行った。 継続	平成29年3月に審議会を開催し、事業の進捗状況及び効果検証を行った。 継続	平成30年3月に審議会を開催し、事業の進捗状況及び効果検証を行った。 継続。 英検合格者の向上についてのKPIは、平成30年度以降 1年生5級 9割 2年生4級 8割 3年生3級 5割 に変更する。	令和元年6月に審議会を開催し、事業の進捗状況及び効果検証を行った。 継続。	

総合戦略進捗状況及び効果検証調書

基本目標	数値目標	(1)基本方向					
【まち】 3. 確かな地域の連携がある暮らしやすいまちをつくる	■住み続けたい意向 5年後に 75 %	・まちづくりに関わる各住民団体の力を高め、これらの連携の下、全ての人が支え合い、互いに包摂される親密な地域社会を形成することにより、日常的にやさしく、緊急時に強いまちづくりを進める。					
(2) 具体的な施策及び重要業績評価指標 (KPI)							
施策	事業	KPI(H26⇒H31)	H27	H28	H29	H30	H31
住民活動の振興	○協働のまちづくりの推進	地区会加入率 74 % ⇒ 80 %	KPI達成状況	KPI達成状況	KPI達成状況	KPI達成状況	KPI達成状況
			74%	72%	67%	66%	
			具体的な取組 進捗状況	具体的な取組 進捗状況	具体的な取組 進捗状況	具体的な取組 進捗状況	具体的な取組 進捗状況
			転入時に地区会加入案内を配付した。	転入時に地区会加入案内を配付した。 住宅開発事前協議の際に、協議者に対し、地区会加入依頼の説明を行った。	転入時に地区会加入案内を配付した。 住宅開発事前協議の際に、協議者に対し、地区会加入依頼の説明を行った。	転入時に地区会加入案内を配付した。 住宅開発事前協議の際に、協議者に対し、地区会加入依頼の説明を行った。	転入時に地区会加入案内を配付した。 住宅開発事前協議の際に、協議者に対し、地区会加入依頼の説明を行った。
			効果・検証	効果・検証	効果・検証	効果・検証	効果・検証
			平成28年3月に審議会を開催し、事業の進捗状況及び効果検証を行った。 継続	平成29年3月に審議会を開催し、事業の進捗状況及び効果検証を行った。 継続	平成30年3月に審議会を開催し、事業の進捗状況及び効果検証を行った。 継続	令和元年6月に審議会を開催し、事業の進捗状況及び効果検証を行った。 継続	
施策	事業	KPI(H26⇒H31)	H27	H28	H29	H30	H31
総合的防災体制の確立	○自主防災組織の育成 ○防災訓練等の促進	自主防災リーダー育成講座等の実施回数 0回/年 ⇒ 2回/年 防災訓練参加人数 640人 ⇒ 3500人	KPI達成状況	KPI達成状況	KPI達成状況	KPI達成状況	KPI達成状況
			自主防災リーダー育成講座等の実施回数 0回/年	自主防災リーダー育成講座等の実施回数 2回/年	自主防災リーダー育成講座等の実施回数 2回/年	自主防災リーダー育成講座等の実施回数 4回/年 府・5市3町合同防災訓練(11月) 各地区自主防災会との検討会議 11回/年 防災研修(HUG)・講演会参加人数 40人	
			具体的な取組 進捗状況	具体的な取組 進捗状況	具体的な取組 進捗状況	具体的な取組 進捗状況	具体的な取組 進捗状況
			平成28年度より具体策を検討していく。	○町主催及び大阪府主催も含めて自主防災リーダー育成講座を2回実施した。 ○防災訓練への参加を地区会(防災会)の会議において啓発を行った。	○町主催及び大阪府主催も含めて自主防災リーダー育成講座を2回実施した。 ○防災研修(HUG)・講演会を実施し、災害の具体イメージを深め、知識と意識の向上を図った。	○自主防災組織を活性化・有効化させるため、昨年度以上に研修等に参加いただき、各リーダーの知識と意識を高めつつ、本町と自主防災会のあり方検討会議を重ねた。 ○自主防災会、学校ほか町内各種団体が実際の避難所での机上想定訓練(HUG)に参加し、より具体的なイメージを持つことで、避難所の自主運営の検討に繋がった。	
			効果・検証	効果・検証	効果・検証	効果・検証	効果・検証
			平成28年3月に審議会を開催し、事業の進捗状況及び効果検証を行った。 継続	平成29年3月に審議会を開催し、事業の進捗状況及び効果検証を行った。 継続	平成30年3月に審議会を開催し、事業の進捗状況及び効果検証を行った。 継続	令和元年6月に審議会を開催し、事業の進捗状況及び効果検証を行った。 継続	

施策	事業	KPI(H26⇒H31)	H27	H28	H29	H30	H31
災害に強いまちづくりの促進	○住宅耐震診断・耐震改修事業	住宅耐震診断・耐震改修 0件 ⇒ 10件	KPI達成状況	KPI達成状況	KPI達成状況	KPI達成状況	KPI達成状況
			0件	耐震診断 3件 耐震改修 0件	耐震診断 1件 耐震改修 0件	耐震診断 0件 耐震改修 1件	
			具体的な取組 進捗状況	具体的な取組 進捗状況	具体的な取組 進捗状況	具体的な取組 進捗状況	具体的な取組 進捗状況
			平成28年度より具体策を検討していく。	広報や防災訓練などを通じ広く住民周知に取り組んだ。	広報による住民周知を行った。	広報による住民周知を行った。	
			効果・検証	効果・検証	効果・検証	効果・検証	効果・検証
			平成28年3月に審議会を開催し、事業の進捗状況及び効果検証を行った。 継続	平成29年3月に審議会を開催し、事業の進捗状況及び効果検証を行った。 継続	平成30年3月に審議会を開催し、事業の進捗状況及び効果検証を行った。 継続	令和元年6月に審議会を開催し、事業の進捗状況及び効果検証を行った。 継続	
生涯にわたる元気づくり活動の促進	○健康増進事業	元気トライ活動参加人数 145人 ⇒ 200人	KPI達成状況	KPI達成状況	KPI達成状況	KPI達成状況	KPI達成状況
			149人	118人	約1,000人	約2,000人	
			具体的な取組 進捗状況	具体的な取組 進捗状況	具体的な取組 進捗状況	具体的な取組 進捗状況	具体的な取組 進捗状況
			食育イベント・体力年齢測定・ハイキング等スマイル元気トライ活動として実施した。	スマイル元気トライ活動としては、活動推進を重点として啓発(便りや掲示物等)を実施。参加実施事業としては、食育イベントと体力年齢測定を実施した。	春のウォーキング教室と秋に体力年齢測定・食育イベントを含めた健康イベントを実施した。健康を運動・交流・食といった様々な切り口で、健康意識の向上を図った。また、町の魅力を発信した。	春のウォーキング教室と健康イベントを実施した。健康イベントでは、多世代交流を行いながら、健康づくりを中心としたイベントを開催した。昨年度に引き続き、多くの関係機関・住民団体等の協力も得られた。	
			効果・検証	効果・検証	効果・検証	効果・検証	効果・検証
			平成28年3月に審議会を開催し、事業の進捗状況及び効果検証を行った。 継続	平成29年3月に審議会を開催し、事業の進捗状況及び効果検証を行った。 継続	平成30年3月に審議会を開催し、事業の進捗状況及び効果検証を行った。 継続	令和元年6月に審議会を開催し、事業の進捗状況及び効果検証を行った。 継続	

施策	事業	KPI(H26⇒H31)	H27	H28	H29	H30	H31
地域ぐるみの見まもり活動事業	○防犯活動 ○子どもの安全見まもり活動 ○犯罪抑止事業	バトロール活動実施回数 1回/週 ⇒ 3回/週(平成27年度) 子どもの安全見まもり隊出動箇所数 4箇所 ⇒ 1,500箇所(平成27年度) 平成29年度審議会結果として、子どもの安全見まもり隊出動箇所数については、 定点箇所 4箇所 ⇒ 5箇所 各戸箇所 0箇所 ⇒ 1,500箇所に変更 町内における犯罪認知件数(空港島内を除く) 85件/年 ⇒ 40件/年(平成27年度)	KPI達成状況 バトロール活動実施回数 1回/週 子どもの安全見まもり隊出動箇所数 2,200箇所(活動物品配付件数) 町内における犯罪認知件数(空港島内を除く) 100件/年	KPI達成状況 バトロール活動実施回数 1回/週 子どもの安全見まもり隊出動箇所数 2,200箇所(活動物品配付件数) 日常登下校時を中心とした着用 町内における犯罪認知件数(空港島内を除く) 95件/年	KPI達成状況 バトロール活動実施回数 1回/週 子どもの安全見まもり隊出動箇所数 2,200箇所(活動物品配付件数) 日常登下校時を中心とした着用 町内における犯罪認知件数(空港島内を除く) 88件/年	KPI達成状況 バトロール活動実施回数 1回/週 子どもの安全見まもり隊出動箇所数 2,200箇所(活動物品配付件数) 日常登下校時を中心とした着用 町内における犯罪認知件数(空港島内を除く) 75件/年	KPI達成状況
			具体的な取組 進捗状況 ○バトロール用ベスト(50着)を購入し、年末夜警をはじめ各種バトロールに活用することにより防犯意識の向上に資した。 ○町民みんなで児童を見守ってもらうべく、町内地区会全世帯と見守り活動関係者に活動物品(帽子・ベスト)を配付し、児童の登下校時に着用し見守っていたくよう啓発した。 ○防犯カメラを通学路に10台設置することにより、児童の登下校の安全確保の他、犯罪の抑止に資した。	具体的な取組 進捗状況 ○バトロール用ベストを着用し、年末夜警をはじめ各種バトロールを実施することにより防犯意識の向上に資した。 ○毎学期の終業式の登校時を町をあげての「見まもりデー」として町広報等にて周知し、実施した。 また、平成30年度より始業式も「見まもりデー」を実施します。 見まもり隊配置箇所数を4箇所から5箇所に増やした。 ○防犯カメラ6台増設することにより、住民の安全確保の他、犯罪の抑止に資した。(町設置台数合計38台) ○町内約100箇所の防犯灯をLED化することにより電球切れが減少し、夜間の安全確保や犯罪の抑止に資した。	具体的な取組 進捗状況 ○バトロール用ベストを着用し、年末夜警をはじめ各種バトロールを実施することにより防犯意識の向上に資した。 ○毎学期の終業式の登校時を町をあげての「見まもりデー」として町広報等にて周知し、実施した。 また、平成30年度より始業式も「見まもりデー」を実施します。 見まもり隊配置箇所数を4箇所から5箇所に増やした。 ○防犯カメラ6台増設することにより、住民の安全確保の他、犯罪の抑止に資した。(町設置台数合計38台) ○町内約50箇所の防犯灯をLED化することにより電球切れが減少し、夜間の安全確保や犯罪の抑止に資した。(今年度で町内防犯灯のLED化は完了)	具体的な取組 進捗状況 ○バトロール用ベストを着用し、年末夜警をはじめ各種バトロールを実施することにより防犯意識の向上に資した。 ○今年度より、始業式・終業式を「見まもりデー」として実施した。 ○地元警察も参加して、見まもりデーを実施した。 ○H23に設置したSDカード式の防犯カメラを7台無線式に更新し、住民の安全確保の他、犯罪の抑止に資した。(町設置台数合計38台)	具体的な取組 進捗状況
			効果・検証 平成28年3月に審議会を開催し、事業の進捗状況及び効果検証を行った。 継続	効果・検証 平成29年3月に審議会を開催し、事業の進捗状況及び効果検証を行った。 継続	効果・検証 平成30年3月に審議会を開催し、事業の進捗状況及び効果検証を行った。 継続。 子どもの安全見まもり隊出動箇所数についてのKPIは、定点箇所と各戸箇所に分ける。 4箇所 ⇒ 5箇所 0箇所 ⇒ 1,500箇所	効果・検証 令和元年6月に審議会を開催し、事業の進捗状況及び効果検証を行った。 継続	効果・検証
			効果・検証	効果・検証	効果・検証	効果・検証	効果・検証
			効果・検証	効果・検証	効果・検証	効果・検証	効果・検証
			効果・検証	効果・検証	効果・検証	効果・検証	効果・検証

施策	事業	KPI(H26⇒H31)	H27	H28	H29	H30	H31
広域行政・広域連携の推進	○広域行政・広域連携の強化	広域連携事務数 40事務 ⇒ 55事務	KPI達成状況	KPI達成状況	KPI達成状況	KPI達成状況	KPI達成状況
			40事務	60事務	65事務	65事務	
			具体的な取組 進捗状況	具体的な取組 進捗状況	具体的な取組 進捗状況	具体的な取組 進捗状況	具体的な取組 進捗状況
			3市3町の広域連携勉強会において、 調査・研究を行った。	平成28年4月より環境農林水産行政に 関する事務(14事務)について、3市3町 での枠組みで事務移譲を行った。 平成29年1月より広域福祉課におい て、新たに障害者手帳交付事務(2事 務)について、事務移譲を行った。	平成29年10月より2市2町による広域まち づくり課を共同設置した。	3市3町による広域連携勉強会におい て、埋蔵文化財、物品共同調達等につ いて、調査・研究を行った。 5市3町による図書館広域連携に係る検 討会議において、調査・研究を行った。	
			効果・検証	効果・検証	効果・検証	効果・検証	効果・検証
			平成28年3月に審議会を開催し、事業 の進捗状況及び効果検証を行った。 継続	平成29年3月に審議会を開催し、事業の 進捗状況及び効果検証を行った。 継続	平成30年3月に審議会を開催し、事業の 進捗状況及び効果検証を行った。 継続	令和元年6月に審議会を開催し、事業の 進捗状況及び効果検証を行った。 継続	

総合戦略進捗状況及び効果検証調査

基本目標	数値目標	(1) 基本方向					
【しごと】 4. 地域資源を活かして活発な交流活動を促進する	■交流人口 5年後に 15万人	・歩いて巡ることのできる町の特性を活かし、多様な人が集まり、交流する、町の核となるゾーンを充実し、まちなかにあるさまざまな地域資源を結び合わせて、産業の活力とにぎわいを創造する。					
(2) 具体的な施策及び重要業績評価指標 (KPI)							
施策	事業	KPI(H26⇒H31)	H27	H28	H29	H30	H31
商工業の振興と雇用・就業	○地域就労支援事業	就労相談件数 41件 ⇒ 50件	KPI達成状況	KPI達成状況	KPI達成状況	KPI達成状況	KPI達成状況
			26件	29件	23件	13件	
			具体的な取組 進捗状況	具体的な取組 進捗状況	具体的な取組 進捗状況	具体的な取組 進捗状況	具体的な取組 進捗状況
			相談件数には就労支援講座参加申込者への聞き取りも件数としてカウントしているが、H27は講座申込者がほとんどいなかった。(平成26年度は3講座合わせて16名、平成27年度は1名)。その他の相談件数は横ばいである。 平成28年度より就労支援講座の種類を増やし、開催時期を早める等、より参加希望者が増える形態に工夫していく。	相談件数は29件あり、そのうち14人が就労した。 就労支援講座については、介護職員初任者研修やフォークリフト研修を実施した。	相談件数は23件あり、そのうち6人が就労した。 就労支援講座については、医療事務研修や調剤薬局事務研修を実施した。	相談件数は13件あり、そのうち4人が就労した。 就職困難者を対象とした就労支援講座については、介護職員初任者研修、フォークリフト運転技能講習、医療事務研修や調剤薬局事務研修を実施したが受講者はなかった。フォークリフト運転技能講習のみ数件の問合せはあったものの、受講要件を満たす者はいなかった。 来年度は、ニーズの高いパソコン講座を追加するなど、受講者の増を目指す。	
			効果・検証	効果・検証	効果・検証	効果・検証	効果・検証
			平成28年3月に審議会を開催し、事業の進捗状況及び効果検証を行った。 継続	平成29年3月に審議会を開催し、事業の進捗状況及び効果検証を行った。 継続	平成30年3月に審議会を開催し、事業の進捗状況及び効果検証を行った。 継続	令和元年6月に審議会を開催し、事業の進捗状況及び効果検証を行った。	
施策	事業	KPI(H26⇒H31)	H27	H28	H29	H30	H31
農漁業と観光・交流の推進	○観光振興体制の整備 ○農漁業の連携 ○地元特産品づくりの推進 ○観光プロモーションの推進	交流人口 12万人 ⇒ 15万人 プロモーション実施回数 2回 ⇒ 3回	KPI達成状況	KPI達成状況	KPI達成状況	KPI達成状況	KPI達成状況
			交流人口 12万人	交流人口 12万人	交流人口 12万人	交流人口 13万人 田尻漁港(13万人) 町内宿泊者数(約12万5千人)	
			プロモーション実施回数 2回	プロモーション実施回数 2回	プロモーション実施回数 2回	プロモーション実施回数 2回	
			具体的な取組 進捗状況	具体的な取組 進捗状況	具体的な取組 進捗状況	具体的な取組 進捗状況	具体的な取組 進捗状況
			平成28年度に向けて、引き続き南泉州観光キャンペーン協議会と連携しイベントを決定していく。	○南泉州観光キャンペーン推進協議会のイベントや浜プランの拡充を図った。 ○農漁業の連携は、日曜朝市や農業祭との連携を強化した。 ○地元特産品は、吉見早生の玉ねぎの知名度向上に努めた。 ○泉州観光プロモーション推進協議会等において、プロモーションを実施し町の魅力を発信した。	○国の交付金を活用し、漁家レストランを整備した。 ○観光施設の受入体制整備として、漁港のトイレを洋式化した。 ○農漁業の連携は、日曜朝市や農業祭との連携を強化した。 ○地元特産品は、吉見早生の玉ねぎの知名度向上に努めた。 ○泉州観光プロモーション推進協議会等において、プロモーションを実施し町の魅力を発信した。 ○(仮称)泉州観光DMOの設立に向け取り組んだ。	○観光振興体制の整備 ・BBQコーナーが漁家レストランとして通年オープンが可能となった。 ・観光客の受入環境整備として、日本人来訪客はもとより訪日外国人からもニーズが高かった公衆無線LANの整備(Osaka Free Wi-Fi)を実施した。 ○農漁業の連携 ・日曜朝市や農業祭との連携を強化した。 ○地域特産品づくりの推進 ・吉見早生の玉ねぎの知名度向上に努めた。 ○観光プロモーションの推進 ・KIX泉州ツーリズムビューローを発足し、プロモーション事業、情報発信事業や訪日外国人受入環境事業を実施した。	
効果・検証	効果・検証	効果・検証	効果・検証	効果・検証	効果・検証		
			平成28年3月に審議会を開催し、事業の進捗状況及び効果検証を行った。 継続	平成29年3月に審議会を開催し、事業の進捗状況及び効果検証を行った。 継続	平成30年3月に審議会を開催し、事業の進捗状況及び効果検証を行った。 継続	令和元年6月に審議会を開催し、事業の進捗状況及び効果検証を行った。 継続	

施策	事業	KPI(H26⇒H31)	H27	H28	H29	H30	H31
コミュニティビジネスの促進	〇コミュニティサポート事業	コミュニティサポート活動件数 －件 ⇒ 1件	KPI達成状況	KPI達成状況	KPI達成状況	KPI達成状況	KPI達成状況
			—	0件	0件	0件	
			具体的な取組 進捗状況	具体的な取組 進捗状況	具体的な取組 進捗状況	具体的な取組 進捗状況	具体的な取組 進捗状況
			平成28年度より具体策を検討していく。	引き続き事業の調査研究を行っていく。	現在、農業委員会が主体となって、吉見早生の玉ねぎの大量生産を始めている。今後は、販売拡大とともにブランド化を確かなものとするために運営の充実に向け研究していく。	吉見早生の大量生産に向けて種子の採取事業にも着手。販路拡大・ブランド化を確かなものにするため、「たじりたまねぎ発祥の地協議会」を発足し、ふるさと納税の返礼品とする運用を開始。知名度の向上を図った。	
			効果・検証	効果・検証	効果・検証	効果・検証	効果・検証
			平成28年3月に審議会を開催し、事業の進捗状況及び効果検証を行った。 継続	平成29年3月に審議会を開催し、事業の進捗状況及び効果検証を行った。 継続	平成30年3月に審議会を開催し、事業の進捗状況及び効果検証を行った。 継続	令和元6月に審議会を開催し、事業の進捗状況及び効果検証を行った。 継続	